

平成29年5月20日

## 日本歯科大学校友会

### 平成29年度ポストグラデュエート・コースのお知らせ

校友会では、会員の皆さまの臨床的技術と知識の向上に貢献するため、毎年厳選されたポストグラデュエート・コースを開催しております。いずれも人気の高い先生にご登壇いただき、限られた人数のなか十分に時間をかけて行われるので、受講された先生方からは「より深く学べる」とご好評いただいております。近年では、申込開始当日に満席となるコースが出るなど、ありがたい状況が続いております。

今年度は、歯周・矯正・画像診断・解剖からみた診断と治療のポイントについて、献体による解剖体標本を用いて学ぶAコース（東京）、最新の心肺蘇生法と急変時の緊急対応を学ぶBコース（新潟）、マイクロスコブ診療の基礎を歯内処置に焦点を当てて学ぶCコース（東京）の3コースを企画しました。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

下記の要領および内容で行います。

- 1 受講資格：校友会会員、本学教職員、その他会員紹介者  
(ただし定員超過の場合は会員を優先)
- 2 申込方法：ファックスの送信か、校友会ホームページからの申込をお願いします。別紙のファックス申込用紙に記入のうえファックスを送信してください。または、校友会ホームページのポストグラデュエート・コースから申込してください。  
(※申込と振込が確認できた方からの先着受付となります。)
- 3 受講料：コース毎に異なりますのでご確認ください。
- 4 申込期間：※定員になり次第、締め切ります。

	開始	締切
A コース	6月2日(金)	6月26日(月)
B コース		7月3日(月)
C コース		7月31日(月)

※Cコースは新潟生命歯学部にて平成27年度、28年度に開催されたコースと同等の内容です。より多くの先生方が受講できるよう、初めての方を優先させていただきます。

- 5 受講票：開催1週間前までに詳しいご案内と受講票を郵送します。
- 6 修了証：受講終了時にお渡しします。
- 7 その他：キャンセルされる場合、受講料の返金はいたしません。ただし事前にご連絡があれば、代理人の受講を認めます。(受講料に差額が生じた場合は調整いたします。)日本歯科医師会生涯研修事業に認定されておりますので研修ICカードをご持参ください。
- 8 申込・問合せ先：日本歯科大学校友会学術部  
〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20  
Tel: 03-3261-8971 / Fax: 03-3264-8745  
e-mail: jimmu@koyu-ndu.gr.jp

別紙ファックス申込用紙に記入のうえ、ファックスにて申してください。校友会ホームページからも申込ができます。

<http://www.koyu-ndu.gr.jp/>



校友会  
ホームページQRコード

## 日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる －歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用－

【担当】	解剖学第一講座	教授	佐藤	巖
	歯科放射線学講座	教授	代居	敬
	歯周病学講座	教授	沼部	幸博
	附属病院診療部・矯正歯科	教授	小森	成

【開催日時】 平成29年7月22日（土）14：00～17：00  
平成29年7月23日（日）9：00～15：30

【開催場所】 生命歯学部 本館3F 135講堂

【受講料】 40,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 55,000円）

【定員】 40名

### 【概要】

臨床における診断と治療には解剖学の知識が重要である。本コースでは基礎・診断・治療のそれぞれの立場から最近の話題も含め、診療科と臨床講座、基礎講座による講義と献体による解剖体標本での実習を行い、初めてマルチコラボレートな視点から以下の点について診断・治療のポイントを紹介する。

- 1) 標本ならではの普段臨床ではみられない口腔内諸器官を詳細に観察する。臨床に即してあらかじめ解剖してある標本の供覧と、上顎・下顎・顎関節等の重要部位を受講者が実際に解剖して器官の位置関係などを確認する。
- 2) 三次元的画像形成法であるCT、CBCT、MRI、ECHOの概説を行い、歯周病学や歯科矯正に関連する読影を行う予定である。さらに、実習に際しては、実際の標本からのパノラマ像、CBCT像を提示して、解剖実習の事前情報として提供する。
- 3) 歯周治療を行う上で重要な、歯肉、歯槽粘膜、歯槽骨、血管などの解剖学的知識を学ぶ（臨床講義）。主に歯周外科を行う時に必要な解剖学的重要点を述べる（実習）。
- 4) マルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療では歯を移動することが治療の主体となり、歯は歯槽の中を移動するという原則がある。当然と思われることだが、臨床ではこの原則通りに治療できないこともある。例えば抜歯後の歯槽骨の狭窄や、上顎洞の発達など、移動すべき歯槽が不足するために歯の移動が困難となる場合がある。実際には可能性を予見しながら臨むことが大切であり、今回のポストグラデュエート・コースでは歯槽周囲の骨組織の厚みや上顎洞の形状にも注目していただきたい。

### □内容

- ① 歯周治療を行う上で重要な、歯肉、歯槽粘膜、歯槽骨、血管などの解剖学的知識を学ぶ（講義）
- ② 歯科矯正学的事項に基づいた診断ならびに治療上の重要点を学ぶ（講義）
- ③ 三次元的画像形成法であるCT、CBCT、MRI、ECHOの概説。歯周病学や歯科矯正と関連する読影（講義）
- ④ 実際の標本からのパノラマ像、CBCT像を提示して、解剖実習の事前情報として提供（実習）
- ⑤ 歯周病学や歯科矯正に必要な解剖学的重要点を実際の標本で供覧（実習）
- ⑥ 歯肉、歯槽粘膜、上顎洞、血管、神経についての上顎、下顎、顎関節の解剖（実習）

（研修単位：9）

## 歯科治療時に注意すべき全身疾患とその対応

### －最新の心肺蘇生法（2015年）と救急対応（静脈路確保・薬剤投与）－

- 【担 当】 歯科麻酔学講座 教授 佐野 公人  
【開催日時】 平成29年8月6日（日）9：30～16：00  
【開催場所】 新潟生命歯学部 アイヴィホール  
【受講料】 25,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 35,000円）  
【定 員】 30名  
【概 要】

近年、超高齢社会に伴い高血圧症、虚血性心疾患などの循環器疾患、気管支喘息などの呼吸器疾患を有する患者の外来受診が増加しています。歯科医師として、歯科診療中における患者の全身管理に万全を期することが必須となっています。

特に、基礎疾患を有する患者は、歯科治療時に急変する危険性が高く、急変時の緊急対応を必要とします。本ポストグラデュエート・コースでは、注意すべき基礎疾患と管理に関する知識・急変時の緊急対応を習得することを目的としています。

緊急時の対応の中で、静脈路に薬剤を投与することが重要事項となるため、実際に静脈路の確保を体験し、技術を習得することを目指します。また、緊急時に必要とされる薬剤の使用法、優先順位について分かりやすく解説いたします。

また、緊急時の対応である心肺蘇生法は、5年ごとにガイドラインが改訂されております。歯科医師は常に最新の救急蘇生法の知識ならびに技術を得、実施する必要があります。今回、2015年のガイドラインに沿ってAEDを用いた心肺蘇生法を実施し、さらに、気道確保の方法として、マスク換気、声門上器具の取り扱い、気管挿管の技術を習得することを目指します。

日常の歯科診療に必要な全身管理を修得することによって、より安全な歯科医療を患者に提供できるように計画しましたので是非ご参加ください。

#### □内 容

- ① 歯科治療時に注意すべき疾患とその対応（講義）
- ② 最新の心肺蘇生法（2015年度ガイドラインに沿った心肺蘇生法）（実習）
- ③ 気道確保（マスク換気・声門上器具・気管挿管）（実習）
- ④ 静脈路確保（実習）
- ⑤ 緊急時に必要な救急薬剤（使用方法）（講義）

（研修単位：6）

## これから始めるマイクロスコープ診療 －マイクロエンド初級－

- 【担 当】 生命歯学部歯科保存学講座 教授 五十嵐 勝  
新潟生命歯学部保存学第1講座 准教授 北島佳代子
- 【開催日時】 平成29年8月27日（日）9：00～16：00
- 【開催場所】 生命歯学部 本館7階 臨床実習室
- 【受講料】 50,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 60,000円）
- 【定 員】 15名
- 【概 要】

マイクロスコープの普及により、拡大視野下での歯科診療の優位性が広く認知されるようになってきました。さらに、ビデオカメラやモニター等の周辺機器を設置することにより、静止画のみならず術者の視線をライブ映像で撮影し保存することも可能なため、診療中は、歯科衛生士や介補者が術者と同じ視野で口腔内を確認することが可能です。

また診療中や診療後に画像を再現することにより、患者様への説明や、治療方針の同意を得る上でも有効であり、さらに歯科衛生士、歯科技工士等とのディスカッションにも活用でき、これからの歯科診療には極めて効果的な器材と言えます。しかし、マイクロスコープを使いこなし、その有効性をいかに発揮するためには、最初に多少のトレーニングが必要です。

本コースでは、まずマイクロスコープを術者個人に合わせるための調整を行った後に、拡大視野下でのミラーテクニックを学び、実際の手の動きとマイクロスコープ下での手の動きの連動性を習熟するための基本的トレーニングを行います。これにより、ストレス無くマイクロスコープを使いこなすための基礎を学んでいただきたいと思います。さらに、注水、切削、バキュームなど臨床と同様の環境を再現した実習室のユニットを使用し、実際の臨床に即した環境でマイクロスコープを用いた歯内療法の実習を習得していただきます。

ひとり1台のマイクロスコープを使用し、天然歯の髄室開拓の確認、隔壁形成、access cavityのほか、髄床底と石灰化物の鑑別、狭窄根管や第2根管の確認等、臨床に即した歯内療法実習を1日じっくり体験していただけます。ご興味のある方は是非ご参加ください。

（研修単位：6）

### □内 容

- ① マイクロスコープ診療の実際（講義）
- ② マイクロスコープの基本的な操作法（講義・実習）
- ③ マイクロスコープ下での天然歯の隔壁形成（講義・実習）
- ④ マイクロスコープ下での歯内療法（講義・実習）

\*本コースは、新潟生命歯学部にて平成27年度、28年度に開催されたコースと同等の内容です。  
より多くの先生が受講できるように、初めての方を優先させていただきます。

**日本歯科大学校友会**  
**平成29年度ポストグラデュエート・コース**  
**ファックス申込用紙**  
**FAX 番号 03-3264-8745**

※希望コースに○をお付けください

<b>A</b>	<b>日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる</b> －歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用－
<b>B</b>	<b>歯科治療時に注意すべき全身疾患とその対応</b> －最新の心肺蘇生法(2015年)と救急対応(静脈路確保・薬剤投与)－
<b>C</b>	<b>これから始めるマイクロスコープ診療</b> －マイクロエンド初級－
<small>*Cコースは、新潟生命歯学部にて平成27年度、28年度に開催されたコースと同等の内容です。 より多くの先生が受講できるよう、初めての方を優先させていただきます。</small>	
<small>フリガナ</small> 申込者氏名	
(卒業回数      回)	
受講票送付先	
〒      ー	
TEL (日中の連絡先)	FAX

ご紹介会員氏名 (※会員でない場合、ご紹介者のお名前をご記入ください。なお、会員が優先となりますので、ご了承ください。)
(卒業回数      回)

※ 申込・振込を確認次第、受講票をお送りいたします。  
(申込のみ、または振込のみでは受付となりませんのでご注意ください。)  
また、受講をお断りする場合はTELにてご連絡いたしますので、日中にご連絡のつく電話番号を必ずご記入ください。

～ 裏面につづく ～

## 平成29年度ポストグラデュエート・コース振込について

	申込開始	申込締切
A コース	6月2日（金）	6月26日（月）
B コース		7月3日（月）
C コース		7月31日（月）

- ① 各コースの締切をご確認のうえ申込ください。
- ② 申込状況は校友会 HP に掲載されています。
- ③ 申込と同時に受講料を下記の振込先へ振込ください。  
※振込前にまだ空きがあることを必ず電話でご確認ください。
- ④ 定員になり次第、締切ります。
- ⑤ キャンセルされる場合、受講料の返金はいたしません。ただし事前にご連絡があれば代理人の受講を認めます。（受講料に差額が生じた場合は調整いたします。）

### 振込先

（銀行名） みずほ銀行 九段支店

（口座番号） （普） 2053107

（口座名） 日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース

Fax : 03-3264-8745

e-mail : jim@koyu-ndu.gr.jp

ホームページ : <http://www.koyu-ndu.gr.jp/>



校友会  
ホームページ QR コード